

電気化学会第81回大会 市民講座

参加費
無料

後援：吹田市、関西大学、関西大学先端科学技術推進機構

我が国の代表企業VIPの激動経験から 学ぶ再生への道



生き抜くためのヒントがここに

携帯やパソコンで使われているリチウムイオン電池を、世界で初めて商品化したソニーの西氏、激動の時代にパナソニックを率いた大坪氏。両名とも日本を代表する企業のVIPとして奮闘されたが、その前後には様々な試練や運命があった——最前線で世界を動かした両リーダーが生々しい体験と教訓を披露します。



第1講座



「死の谷」よりも怖い「止の谷」 西美緒氏

(ソニー(株) 社友、元ソニー(株) 業務執行役員上席常務)

第2講座



「会社生活で体験し学んだこと」 大坪文雄氏

(パナソニック株式会社 特別顧問(前代表取締役社長))

2014年3月30日(日)

10:00~12:00

会場

関西大学千里山キャンパス
BIGホール100

阪急千里線「関大前駅」下車・徒歩8分

※入場自由。当日会場までお越し下さい。

お問い合わせ

公益社団法人電気化学会 事務局

〒102-0074

東京都千代田区九段南4丁目8-30

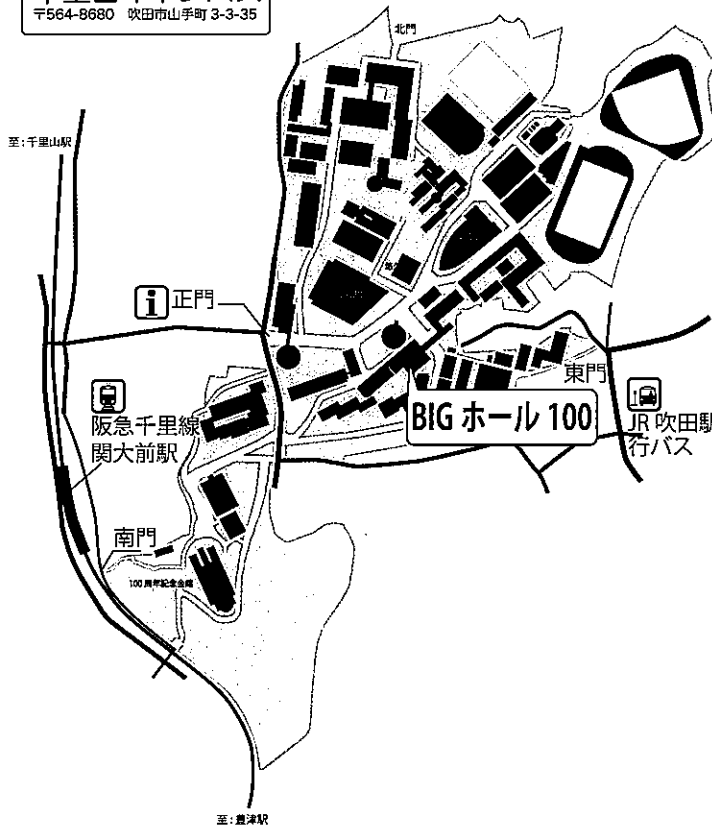
アルス市ヶ谷202

TEL 03-3234-4213 / FAX 03-3234-3599

HP: <http://www.electrochem.jp>

E-mail: ecs@electrochem.jp





■大阪（梅田）からのアクセス

阪急電鉄「梅田」駅から、千里線「北千里」行で「関大前」駅下車（この間約 20 分）、徒歩約 5 分。または京都「河原町」行（通勤特急を除く）で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

■新幹線「新大阪」駅からのアクセス

○地下鉄および阪急電鉄利用の場合

JR「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線「なかもず」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方（みなみかた）」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車（この間約 30 分）、徒歩約 5 分。

○JR 利用の場合

JR「新大阪」駅から、JR 京都線（東海道本線）「京都」方面行（快速・新快速を除く）で「吹田」駅下車（この間約 5 分）の後、阪急バス「JR 吹田北口」停留所から「関西大学」停留所下車（この間約 7 分・25 分間隔で運行）、徒歩約 7 分。

■大阪（伊丹）空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市（かどまし）」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車（この間約 30 分）、徒歩約 5 分。

電気化学会とはどんな学会？

電気化学に関する研究を推進するとともに、関連産業技術の進歩を図り、もって社会に貢献することを目的とする公益社団法人です。

会員数：約 5,200 名；年次大会の活動：参加者 2,000 名程度（発表件数約 900 件）；4 年に一度、米国 The Electrochemical Society と合同会議開催：参加者 3,300 名、うち日本人 1,300 名（発表件数 3,200 件）

関連する最新学術領域

エネルギー変換・貯蔵： 現在、社会的要請の非常に強い、電池、燃料電池、キャパシタなどに関する日本で最大の学術団体。電気自動車やスマートグリッド発展のキーテクノロジーです。

光エネルギー利用： 日本発の実用化技術である光触媒や、色素増感太陽電池などが次世代環境エネルギー技術として注目されています。

バイオ・環境・センシング： 環境モニターや医療診断に重要なセンシングも学会の基幹学術。さらに生物電池などバイオエネルギーの開拓も図っています。

無機・有機電解工業： 有用な金属および無機・有機材料の製造や精製に欠かせない電解技術は電気化学工業のツールになっています。

IT 関連技術： 半導体や電子部品の製造で電気化学テクノロジーが活躍しています。

耐久構造物の長寿命化： 電気化学腐食防食技術が長寿命化に貢献しています。